

おいでよ！！うつぐみの郷・GW

5月4日(日) ~ 5月6日(火)

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目	綾部に向け出発	施設整備	星空観察
2日目	遠足(舞鶴ツアーア)	遠足(舞鶴ツアーア)	お好み焼きパーティー まったりタイム
3日目	田植え体験	施設清掃 施設出発・解散	

一日目： 今日から三日間うつぐみでキャンプを楽しんでいただきます!!京都、尼崎、宝塚から参加者を迎えて、うつぐみの郷へ向かいました。ゴールデンウィークで道は混んでおりましたが、車内は談笑で楽しみながら、向かうことが出来ました。それでも昼には到着することが出来、早速昼食をとりました。天気も良かったので、外でいただきました。昼食後は、今回初めてうつぐみに来られた方には施設の使い方の説明と周辺の案内に出掛けました。施設の裏には牛舎があり、大きな牛に驚かれていました。これまでに使った事のある方は、作業着に着替えて、農業や施設の整備を行いました。農業はナスとトマト、きゅうりを植えました。まずは畝作りから行いました。畝を作るだけでもかなりの労働で、汗を沢山かきながら鍬を振り下ろし、作りました。マルチをかけ、苗を植える時に、「美味しいくなつね。」と声を掛けながら植えていただきました。施設の整備として、株の引き抜き作業をしていただきました。既に切り取られ、枯れている丸太ですが、根は張っているので、周りを掘り、根を切り、皆で力を合わせて力一杯引っこ抜きました。初めは全くびくともしなかった根が、みんなで力を合わせるとグラグラと動き、引き抜けた時の喜びは忘れられないと思います。草刈りは、機械を使って刈りました。初めは所々刈り残しが目立ちましたが、そこを細かく指摘し、コツを伝えると、徐々にキレイに残すことなく刈る事が出来ました。こうして、誰一人サボる事なく、暑い中頑張っていただきましたので、大きく作業が済みました。夕飯は“親子丢”を食べました。皆、お腹がとても減っていたのでしょうか。予定していた量をペロリと完食されたので、本当に驚きました。夜は“天体観測所パオ”に行きました。快晴の夜空の時に行くのが久しぶりなので、星や惑星を天体望遠鏡で見ることが出来、興奮していました。明日は、一日遠足です。天気も良いので、最高の一日になるかと思います。ゆっくり休んで、明日も全力で楽しみましょう!!



二日目： 雲一つない青空と暖かい日差しが部屋を照らし、清々しい朝を迎えました。今日は一日遠足で、舞鶴へ向かいます。布団の片付けを協力して行い、身仕度、洗面などを済ませ、朝食づくりを行いました。メニューはお馴染みの“パックサンド”です。作り方は皆知っているので、食材を渡すと、テキパキと動かれていました。また同時に、昼食として“おにぎり”も作りました。サンド係とおにぎり係に分かれて作りました。自分の分だけではなく、友達の分も作るので、いつもより丁寧に取り組まれていました。朝食後は【うつぐみタイム】として、施設の清掃をしました。皆で分担し、懸命にキレイにしていただきました。そして舞鶴へ出発です。途中、今日から参加される方を迎えて、目的地へ向かいました。道中、レクリエーションをし、楽しみながら向かいました。舞鶴の“赤レンガパーク”に到着すると、【赤レンガフェス】が開催されており、沢山のお店が立ち並んでいました。イベントも開催されて、大変な賑わいを見せっていました。グループに分かれ、パーク内を散策しました。舞鶴港名物の【海軍カレー】を食べたり、暑さからかき氷やチョコバナナを食べたりしました。海上自衛隊のブースでは、制服の着用や、専用車の試乗体験が出来ました。お祭りのイベントにも参加され、多くのギャラリ

一の前で奮闘されていました。そして、今回の目玉プログラムとして、【舞鶴港クルーズ】を体験していただきました。舞鶴港は海上自衛隊の基地があり、沢山の護衛艦が停泊しています。それを間近で見ることが出来、その迫力に圧倒され、感動されました。充分にフェスを堪能出来たので、帰りの車内は沢山の方が休まれていました。施設に戻り、少し自由時間を経て、夕食づくりをしました。今晚は“お好み焼き”です。キャベツの千切りをする人、生地を混ぜる人、焼く人、食べる人に分かれ、次々と焼いて、いただきました。焼き加減はバツチリで、何枚もおかわりをされました。随時入浴を済ませ、談笑を楽しむ方、おもちゃで遊ぶ方、テレビを見る方、各々ゆっくり過ごしました。



三日目： 最終日はあいにくの雨模様です。三日目となると疲れも出始めており、ゆっくりな朝となりました。朝食は和食セットです。この後の田植えへパワーを蓄える為に、しっかりと召し上がっていただきます。朝食を済ませ、田植えの着替えをしました。雨が降っているので、上半身は雨ガッパを着用して行います。いつもお世話になっている田んぼへ移動しました。米農家の【中田さん】に挨拶を済ませ、やり方を聞き、ついに始まります。あらかじめ田んぼには線が引かれており、その線を頼りに稲を植えていきます。初めは上手く植えられず手間取りますが、慣れてくると手際よく、次々と植える事が出来ました。途中バランスを崩して体から泥にダイブされる方もおられましたが、それも良き思い出になるでしょう。田植えを終え、うつぐみに戻り、温かいシャワーを浴びて、スッキリすれば昼食が待っています。雨に打たれながらも田植えを頑張ったのでお腹ペコペコです。メニューは“ラーメン”です。余るほど用意しましたが、ペロリと完食されました。お腹が満たされた後は、最後の清掃です。使った箇所を重点的に、徹底して掃除をしました。最後、みんなで看板の前で写真を撮り、うつぐみを後にしました。帰りの前半は静かで、多くの方が休まれていました。トイレ休憩後は終始賑やかな車内でした。帰りは遅くなりましたが、皆満足な様子で帰路につかれました。

<キャンプ総括>

今年も無事に田植えを終える事が出来ました。今、お米が高騰し、貴重になっているので、より大切を感じて、一つずつを丁寧に植えていただきました。うつぐみを利用される皆さんには、お米だけではなく、うつぐみを取り巻く環境全てに対して、貴重性を感じていただき、大切に扱っていただいている。その中でも意外なものが【雑草】です。うつぐみは放っておけば、あっという間に雑草が生い茂り、定期的に草刈りをしないといけません。刈った草は、しばらく放置すると茶色くなり、水気は抜け、燃えやすくなります。それを燃やし灰にして、その灰を畑に撒きます。すると畑の酸性度は中和され、野菜達が育ちやすくなります。そうして育った野菜を販売し、得たお金で草刈り機のガソリンを購入します。こうした循環が生まれます。そう考えると、無限に生えてくる雑草もうつぐみを支えている貴重な存在です。人だけではなく、周りの自然もうつぐみと深く関わりを持っています。どちらか一方ではなく、『共存』していく事をメンバーに伝えました。この想いを普段の生活でも忘れないでいただきたいです。 (竹中 哲郎)

最後に…

うつぐみの郷の利用を通じて、メンバー皆さんには『食育』について学んでいただきます。田植えや稲刈り、整地など、手間暇かけて行う体験を通して、収穫の喜びや楽しさを感じ、食べ物に対する価値観を変えていただきます。また、農業の大変さ、苦労さも感じていただきます。そうした総合的な経験が、【食】への感謝や大切さに繋がり、食事に対する姿勢や想いにも影響を及ぼすと考えております。それがうつぐみの郷で学べる『食育』と考えております。食事は一生かけて関係してくる大切な生活の一部です。だからこそ、今のうちから改善していただきたく、促して参ります。少し(!?)口うるさくなることがありますが、温かい目で見守っていただけると幸いです。どうか、よろしくお願い致します。